

寫眞週報

內閣情報部編輯
二月八日 第十五號

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 12

母と子



日本精神發揚週刊

支那支那貯蓄債券



出賣 二月六日ヨリ 二十日マテ

四百五拾圓割・四五百枚一
行銀業勸本日・省藏大



上古神武 木村武山筆

事變第三年、東亞新秩序の建設に邁進すべきこの秋、紀元の佳節を迎へて神武天皇の御創業を偲び奉り、華國の大精神を新にすることはまことに意義深いことである。

神武天皇は神代より受けつがれた天業を恢弘し、限りなき困難を克服して御東征の大業を完成し、萬世播きなき皇位に即かせられた。天皇が大和攝原の地に都を興め給ふに當つて下し給ふた詔の中に於ける「八紘ヲ掩ヒテ宇ト爲ム」といふ大精神は、實に歴々としてわが三千年の國史を貫いて流れる大精神である。「八紘一字」とは皇化にまつるはぬ一切の禍を拂ひ、日本は勿論のこと、各國家各民族は自立

自存しつゝも、相倚り、相扶けて全體として蕩然たる一家をなし、以て生成發展してやまないといふ意味に外ならない。

この大精神は又今回の支那事變に於て最高度に發揮されなければならない。

支那四億の民衆を、抗日容共の惡夢から解放し共存共榮の東亞の新秩序を建設する爲に我々は如何なる努力をもおしんではならない。この爲に皇軍將兵はあらゆる苦難を忍んで曠古の大捷利を博し蔣政権をして一地方政権に轉落せしめてしまつた。併しなからその後に來る建設こそ更に大なる努力を要求する。一地方政権に轉落したとは言へなほソ聯その他

の援助をたのんで執拗な抵抗をつゞける蔣政権を抑へると共に、わが國土の二倍に刺る占領地の治安を維持しその豐富なる資源をわが優秀なる技術と資本を以て開發し、更に傳統の香り高い東洋文化を發展せしめなければならない。まさに「八紘一字」の御詔の下國民精神の一段の發揚を要する秋である。二月五日から十一日まで行はれる日本精神發揚週間はこの趣旨の下に行はれるのである。

紀元節國民奉祝の時間
二月十一日午前九時

廣東の 蛋族



撮影 大宅 壯一



南支には珠江流域に集散する名物、蛋族がある。北の方から漢民族を征服しながら南下してきた漢民族に連れられて遂に水上生活者になった人々だ。彼らが獨特のみずほらしい民船につけて集團生活をしてゐる有さまを廣東の沙面あたりから眺めるのは一つの壯麗ともいへよう。

しかもこのちつぽけなせまいサンパン一葉の中に驚ろくなかれ数家族が生活を営んでゐる。結婚した夫婦が二組に兄弟二三は寮間苦力になり、女房が掃をこいで（十六歳くらい）の女房もある。至極のんきに暮してゐるのがまだ数千隻もある。

人といつた調子で、一切の炊事から何までやつてのけてゐるのだ。かれら蛋族は事變前はほとんどなく廣東附近に集まつてゐたものであつたが、廣州やその他傳染病の媒介になつたり非常に不潔なので今では廣東市政府から退散を命ぜられた。然し、彼ら自身は一向に平氣で暮らした。





伐採斧の音が消えるとズシンといふ
地響とともに梢の雪は一瞬に飛散する。
すぐ鋸の音が生野に食ひ込む。



白風吹きすさぶ樹葉資源の大森林に
鉄後の意気高く袖夫たちはわけ入る。

雪の樺太

拓務省管理局

撮影 樺太

十月初旬谷連山の嶺に積り初めた雪は、年を越していま四五十程の根雪となつて居り、四月まで樺太全土はこのまゝ白一色に塗りつぶされるのである。汚れなき雪の樺太は、新東亜建設を目指す樺太日本の一業微でなければならぬ。

領有以來早くも三十餘年、樺太の拓殖は官民の協力によつて産業に、交通に、文化にたゆみなき進歩を続け、かつて千古斧鋸を入れぬ大森林に蓋はれた島も、今や人口三十有餘萬を算し、近代文化の移し殖えられるを見るに至つた。特にこんどの支那事變が勃發すると共に、全島民は連連日本の第一線に立つ勇士として愈々その使命を強く認識し、樺太開拓進展のため精進を續けてゐる。

春から秋にかけ農耕、漁業に従事した人々の多くが冬は雪をおかして森林の伐採に赴く。姿は神々しくさへ見られる。伐られた木材は雪の上を滑つて河岸に運ばれ、春の雪解けを待つ。今は伐採の最盛期である。木材の用途が建築用具、坑木、薪炭材は勿論、紙、人網、バルブなど重要物資の原料として缺く可らざるものであることは更めてこゝに説くまでもあるまい。島内のバルブ工場は大泊、豊原、落合、知取、恵須取、泊居、野田、真岡の八箇所があり、別に数箇所には人網、バルブ工場がある。冬は鱈、鮭、水下魚の漁獲にも絶好の時期であり、鱈業者は毛皮を作るに忙しい豊原にある製糖工場も、甜菜を利用するので今その製造に大奮である。

石炭も亦樺太に於ける重要資源の一つである。全島の埋蔵量も著しく多量に上り、その採掘も年々累増しつつある。内戦には石炭液化工場がある。

樺太島内に設置された國民精神總動員執行委員会は時局の認識強化に日夜目覚ましい活動をしてゐる一方軍人援護會樺太支部は出征軍人遺族家族の授養に只管遺憾なからむことを期してゐる。皇軍武運長久の祈願祭戦病死者の慰靈祭など戦時下樺太住民の熱誠は天餘の積雪をも融かさうとするのである。

北緯五十度の日ソ國境線はソ聯の兵舎増築、トーチカの防備、飛行場の新設などが島内人心の緊張を強が上にもそり、東西百三十軒の境界の警備に當る警察官の任務は益々重大を加へつゝある。

八紘一宇の精神によつて進歩を續ける日本、その極北の生命線は島内官民の一致協力によつて防護を堅く堅きを思ふのである。



網橋—長さ十二尺づゝの丸太が静かに
雷いワンドラ地帯の川を流れてこゝに
集まる。

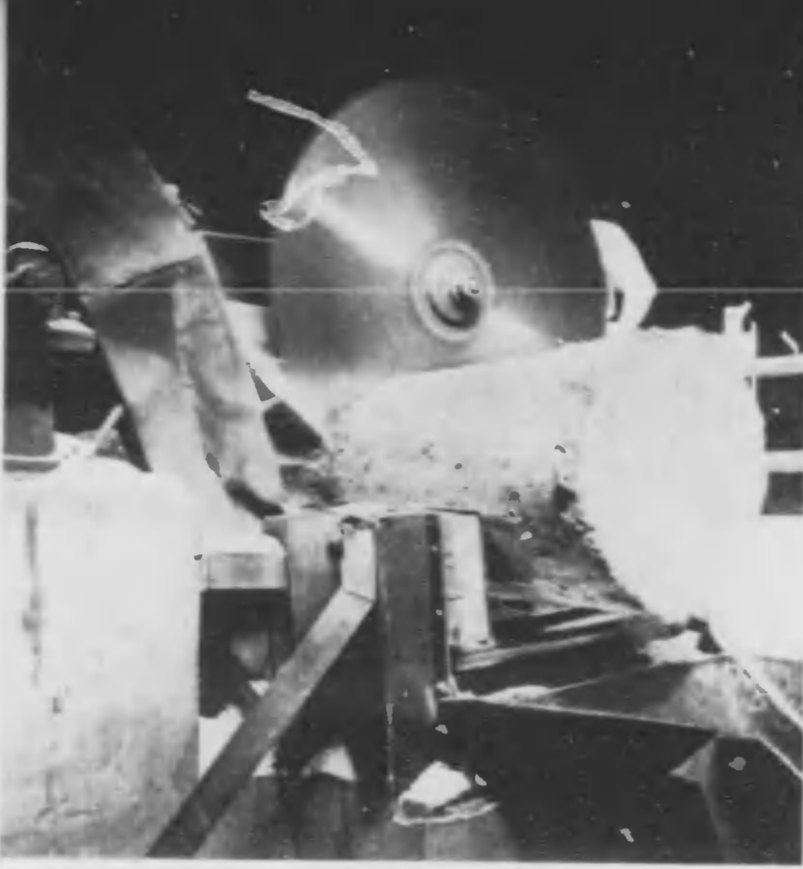
雲の樺太



馬に運ばれてきた伐木を選びおけるため網罟に送る。北風の空はあくまでどんよりと重い。

選木された丸太は川口からロツクホールにのつて貯木場へ。こゝで噴霧もろとも高でつみ上げられる。

電氣鋸がものすごい唸りをたて、丸太は大根のやうに簡単に切斷される。



繊維素は水洗されてから、晒粉の入ったアールで約二時間漂白される。



貯木場の丸太はトロッコで生きてゐる巨大な組織、パルプ工場に運ばれる。

蓋に丸太は厚さ一分、一寸角位の細片に切りくだかれる。これはチップと呼ばれ木釜へ送られる。

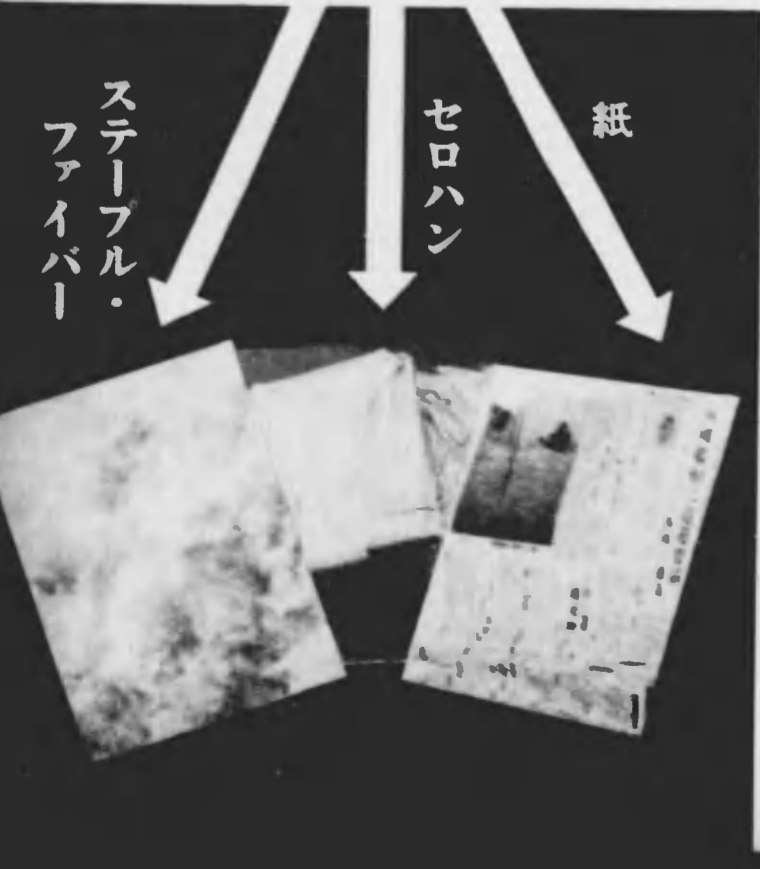
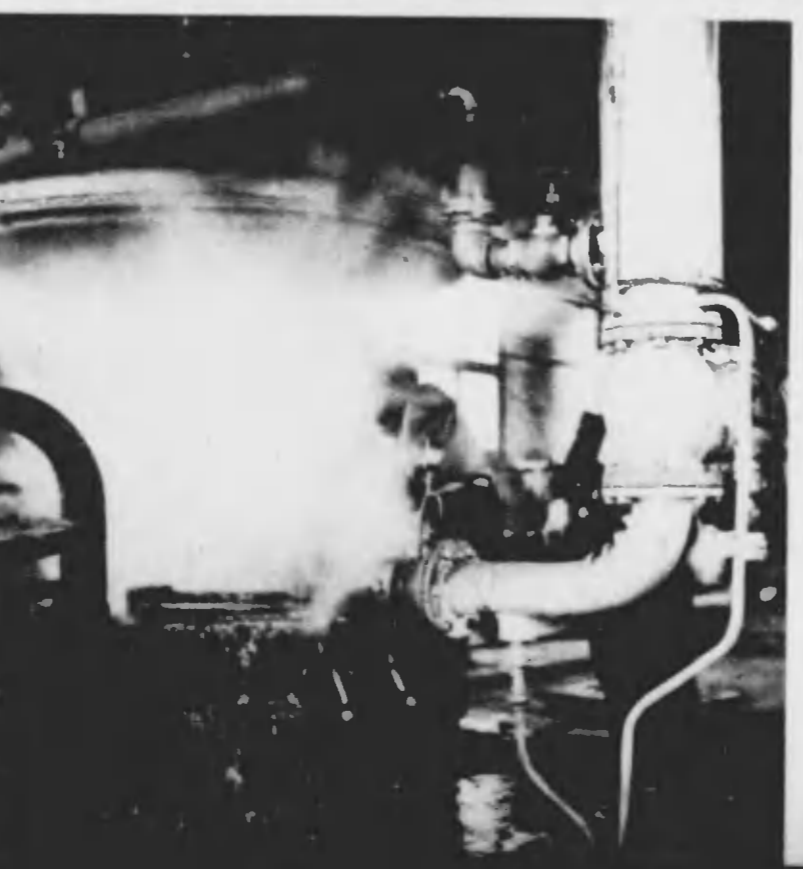


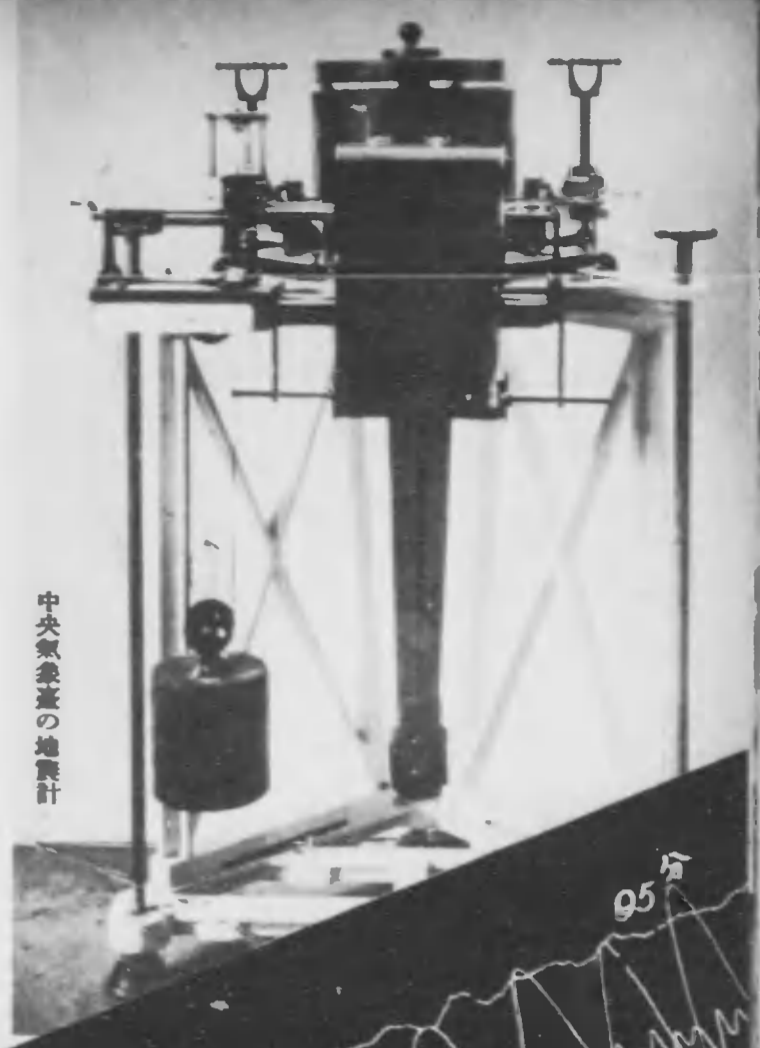
密林の木材はこの工程をへて見ごとな精製パルプになる。直ちに裁斷器にかけられ、人網や各種紙の原料として市場に送り出される。



生産力増大。パルプ工場の動力モーターは全力で日に夜をついで廻轉してゐる。

木釜のなかでチップは百五十度の重亞硫酸石灰液で十時間煮られ、非纖維素と纖維素とに分離される。





中央気象臺の地震計

地震の速度

地球の裏から表へ

つらぬいたチリの地震

一月二十四日午後十一時三十二分(日本時間二十五日午後三時三十二分)南米チリの中部、チリアン、コンセプション地方一帯は、突如激震に襲はれ、平和な夢を結んでゐた町も村も忽ち、阿鼻叫喚の地獄圖繪と化し、建物は半数以上倒壊、死傷八萬にのぼるといふ大惨事が勃發した。



全国地震観測の中樞、中央気象臺

この惨事は時を移さずニースとなり、太平洋を渡つてわが國にもたらされ、ラヂオで新聞で報道されて、國民一般の驚駭と同情を掻き起したが、この大地震はしかしニースの第一報が日本に達する以前に早くもわが國各地の地震計によつて記録されてゐたのである。

東京の中央気象臺の地震計がこの恐るべき無氣味なウェーブを記録し始めたのは、一月二十五日午後零時五十二分であつて、チリに地震が勃發してから僅か二十分後であつた。地震の波は實にチリ東京間一萬七千キロを二十分間といふ超スピードで暴走して来たのである。この長距離は若し南米航路の汽船で來るとすると僅に三十日の日子を要するし、假りに時速三百キロの飛行機に乗つて途中無着陸で飛びつづけるとしても約五十七時間かかるわけである。

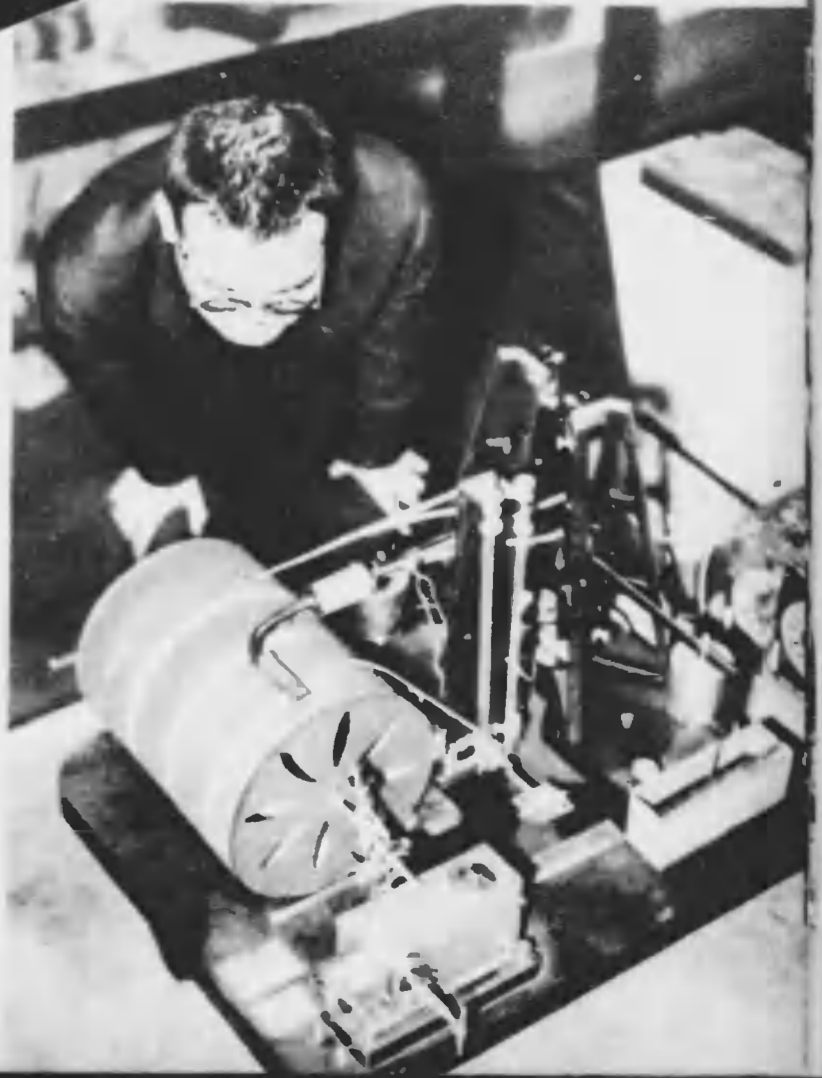
地球の裏から表まで二十分! この物怪いスピードを持つ地震の波は一體何處をどういふふうに進んで来たものだらうか。

元來、地震といふのは地殻の内部に長い間にわたつて生じた不均衡が、元の均衡の状態に戻らうとして地殻の一部に急激な變動を起す。これが所謂震源となつて、四方に波動が傳はつて行く。この現象がつまり地震であつて、静かな池の水面に石を投げると四方に波が擴がつて行く。これと同様である。たゞ、地震の場合は波動が平面的にだけでなく立體的にも擴がつて行く。即ち、地球の表面に沿つて傳はるものと、地殻の内部を通つて傳はるものとがある。前者を表面波、後者を實體波といひ、速度の點からいふと後者の方が速く、チリから東京まで二十分で達したのは地殻の内部を通つてきた實體波であつて、これから約五十一分遅れて表面波が同じ地震計に記録されてゐる。

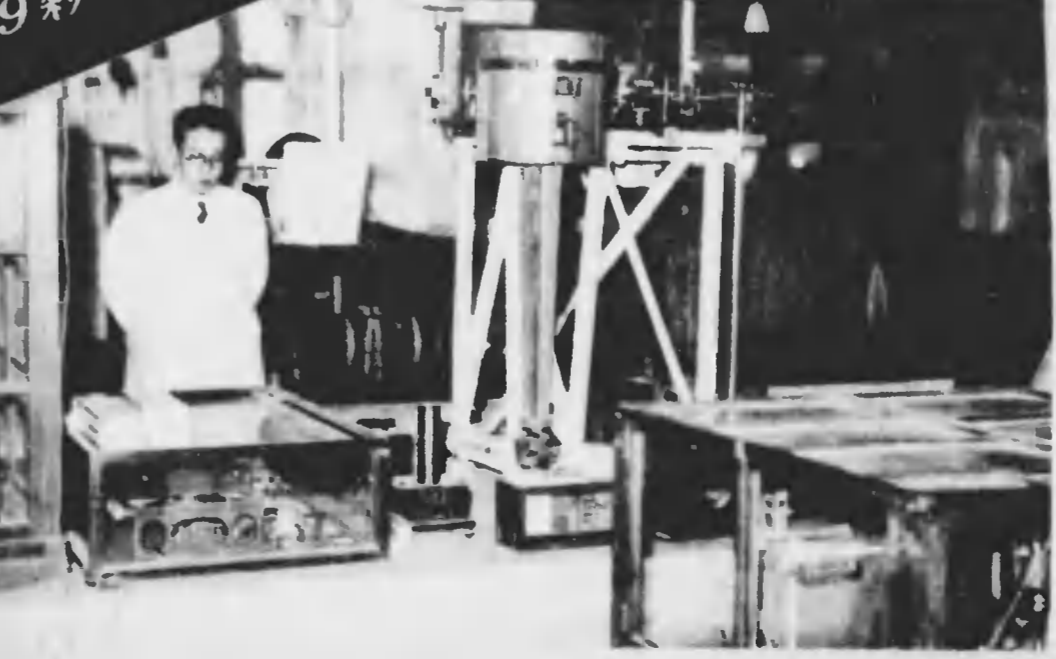
らうとして地殻の一部に急激な變動を起す。これが所謂震源となつて、四方に波動が傳はつて行く。この現象がつまり地震であつて、静かな池の水面に石を投げると四方に波が擴がつて行く。これと同様である。たゞ、地震の場合は波動が平面的にだけでなく立體的にも擴がつて行く。即ち、地球の表面に沿つて傳はるものと、地殻の内部を通つて傳はるものとがある。前者を表面波、後者を實體波といひ、速度の點からいふと後者の方が速く、チリから東京まで二十分で達したのは地殻の内部を通つてきた實體波であつて、これから約五十一分遅れて表面波が同じ地震計に記録されてゐる。

地殻内部に入るに従つて次第に増加して地表面下二九〇キロでは毎秒約十三キロ(時速四萬六千八百キロ)になる(但し二、九〇〇キロ以上の深所は所謂核といはれる所となり波動の速度は減じる)表面波の速度は毎秒約四キロ(時速一萬四千四百キロ)で、この波がチリから東京に達するには約七十一分かゝつてゐる。距離の短い地殻内部を速い速度で傳はつてくると、距離の長い地表面を比較的遅い速度で傳はつてくるので二十分對七十一分といふ相違が出来るわけである。

中央気象臺の地震計によつて記録されたこんどのチリ大地震の記録。P₁は實體波Lは表面波の曲線は下から上へつゞいてゐる。



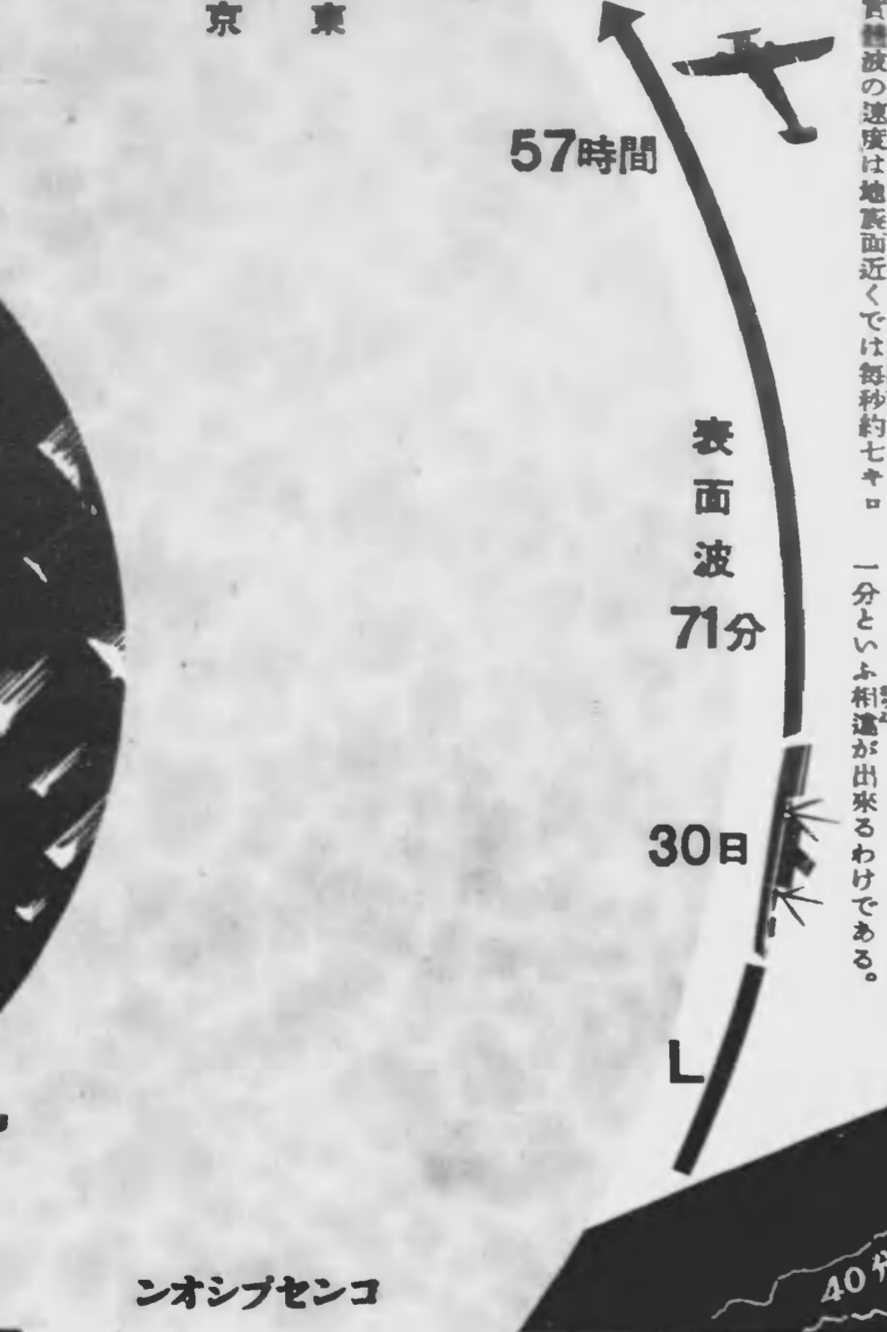
東京帝國大學理學部地震學教室(下)と、ここに設備されてゐる今村式地震計(前東京大學今村博士の設計による)これと同じものが地震學操典のためこんどわが外務省からチリに贈られることになつた。



いづれにしても秒速四キロ乃至十三キロといふ速度は非常なもので音波の速度が毎秒約〇、三三キロであるのに比べてもわかることである。震源の巨大な力は實にはとんど地球全體をかうして揺り動かしたのである。



東京



シブセンコ





母と子と

を子るな全健は家國
るめ求に母るな全健



← 實木鈴影撮

次代を擔ふ兒童の健全な養育に當るものは母であつて、母の任務は國家の消長に關する非常に重大な役割を演じてゐる。この母の任務が成る事故の爲めに進行し得ない立場になつた時、國家は、かうした母子の救済、或は援護の方法をとり、その健全なる發達をはかつてゐる。戦時にあつては夫が出征若くは遭害した場合はその家族、遺族等で生活に困難なものは軍事扶助、軍事援護事業助成の恩恵に浴すものであるが、軍事扶助法の適用を受け得る

者は
一、下士官兵（現役、應召）ノ家族、遺族
二、傷病兵ノ家族、遺族
三、傷病兵であつて現下新築建設の要職に遇してゐる軍人の家を護る母と子は國家の援護下に或は全國民の關係相扶の援かい手によつて何ら戦後の不安もなく明朗な生活を續けてゐる。平時に於いては近時の社會經濟生活の複雑化から一家の庶務者である夫を失つたため、家計の混亂から悲惨な境遇に陥り、或は子女



戸山原では子供達が精々として置かれてゐる。「ア、あんなおいたしてイヤね」とお母さんは笑つてゐるが、お嬢さんは羨ましまさうだ。

人形遊びにもあき、「お父さん何時歸るの」「あと十程とね」お嬢さんは一生懸命歌へてゐますが、なかなか出来そうにもありません。日差しを受けて若い母は微笑む。

お嬢りの御主人が漢口攻略戦で名譽の戦死を遂げられました。孤人の母子は隨んで感謝の祈りを捧げてゐる。



「お父さん、戦後は御心配なく！」愛兒までも仲間に入つて「戦後の家」の家族は皆仲良く一緒に内職をしてゐます。

娯楽室の一時——特志家から贈られたオルガンを圍んで、お仕事を終へた家族達は皆な仲良く、戦地にも響けと父よ、あなたは強かつた！を合唱してゐる。

「洋子ちゃん、お父さん忘れなさい？ ホーラこれお父様のお寫眞よ！最近戦地からの便りであらう、日焼した父のお嬢さんにははにかんでゐる。」



生活の朝—「行つていらつしやい」元氣なわが子の聲を背に「おいたするんじやありませんよ」と振向き微笑む母の双眸には愛子の姿がグン／＼とクローズ・アップされ、生活の歡喜に胸は躍る。



よく眠る子はよく育つ—おまごはんもおいしくいただいた。託児達は皆な仲良く日差のいい部屋でスヤスヤと午睡する。

お母さん見て下さい！—「おいたなんかするもんですか」皆な元氣で御覽の通り「一、二、三」と正午のラヂオ体操をしています。

おまごはんが心盡しのお辨當に「載ります」も、もどかしく舌鼓み打つ託児の健康振りも頼母しい。



おまごはんが心盡しのお辨當に「載ります」も、もどかしく舌鼓み打つ託児の健康振りも頼母しい。



と 子 と 母

の養育が不可能となつたり、その養育の爲めに母が犠牲となり、又は母子心中の如き最も悲惨な事件を招くがごときを防止し、養育を母に保護救済するため昨年一月一日母子保護法の施行を見、爾來一年、廣く母子の保護に當つてゐる。同法の適用者は十三才以下の子（若くは孫）を養ひ、養育の爲めこれを養育し得ない母（若くは祖母）にして原則として配偶者のないものである。

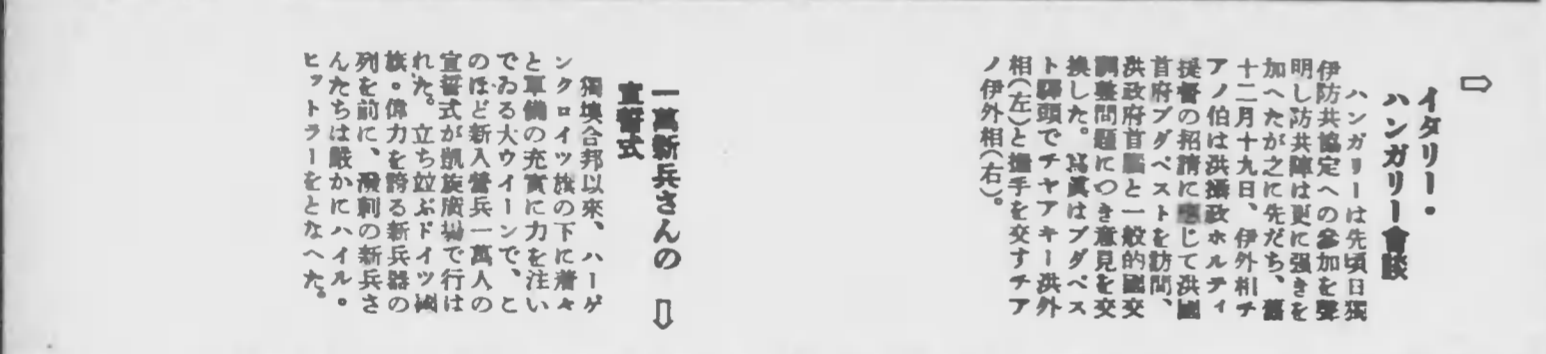
しかし母に配偶者があつてもその配偶者が（一）精神又は身體の障害によつて養育の出来ないとき（二）行方不明であるとき（三）法令によつて拘禁されたとき（四）母子を遺棄したときは配偶者のない者として同法の適用を受けるものである。かうした母子の保護或は扶助の方法は昔々、全國にゆきわたる、保護下の母は國家の將來を擔ふ兒童の健全な養育に難々しい歩みを續けてゐる。



ロンドンルネ組員ら
ベルリン、東京四十六時間航の歴史的記録を樹立したロンドンルネ組員ヘンケ、ロンドンのアン、ベルギー飛行機師、日英市民の歓迎に迎へられた。ヘンケは「マールでこんなことになつて残念です。しかし、日本の愉快な印象を土産にすることが出来て満足です」と語つた。



ポーランドに開かれる
国際スキー競技会
国際スキー競技会は今年二月十日から廿日までポーランドのワコパネに開かれることに決定、鳴物入りで準備が進められてゐる。写真はその競技会に一目立の服装で果物を運ぶポーランドの山男の一隊だ。



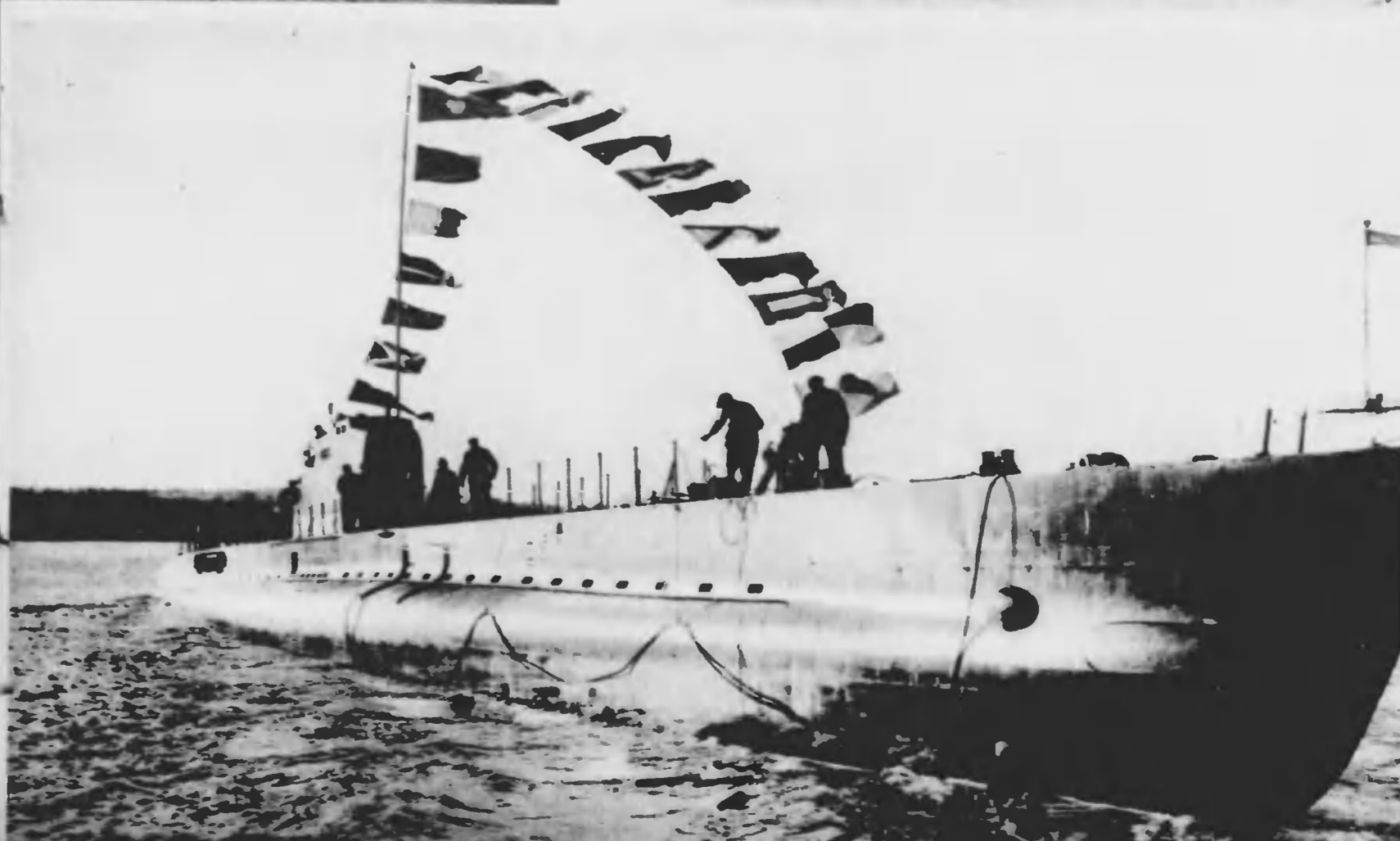
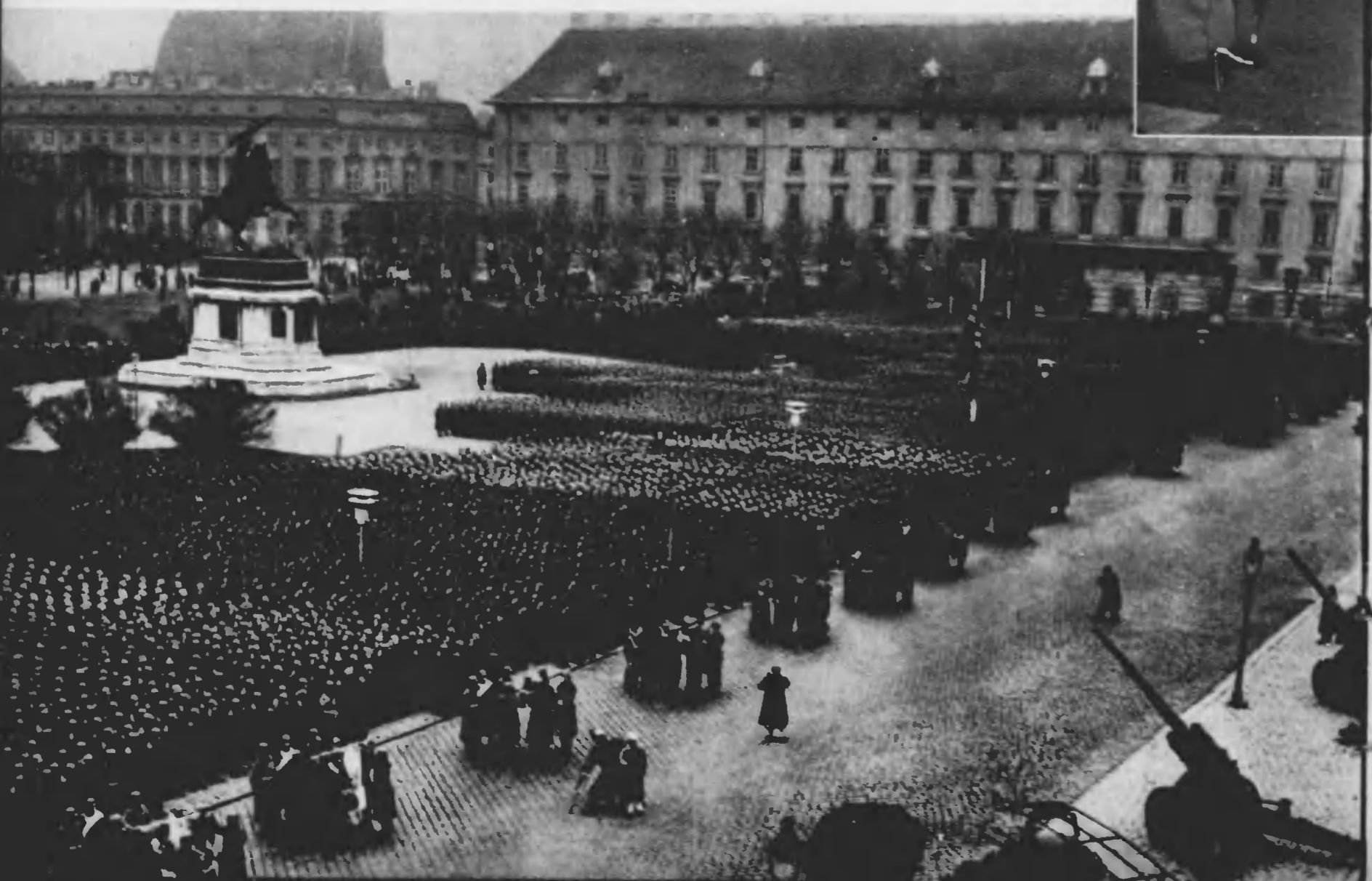
一萬新兵さんの
宣誓式
獨逸合邦以来、ハーゲンクロイツ族の下に着々と軍備の充實に力を注いでゐる大ウイーンで、このほど新入新兵一萬人の宣誓式が凱旋廣場で行はれた。立ち並ぶドイツ民族の偉力を誇る新兵の列を前に、演説の新兵さんたちは、涙かきハイル・ヒットラーをとなへた。

イタリー・
ハンガリー會談
ハンガリーは先頃日英伊防共協定への参加を要明し防共陣は更に強きを加へたが之に先立ち、十二月十九日、伊外相チアノ伯は洪演政ホルタイ提督の招請に應じて洪演政府フグベトを訪問、洪演問題に一般論的交換した。写真はフグベスト頭でチアノ外相(左)と握手を交すチアノ(右)。



佛海軍新鋭潜水艦を加ふ
フランス海軍の誇る潜水艦セレスがセーヌ河畔のルーアン造船所で進水した。全長六十八米十幅、排水噸數六百六十二、時速十四節の新鋭艦で直ちにシムール軍港で裝備される。

海外通信



カワトは今年の南佛エースの
カーニバル・ボスター「歌喜の王様」

写真協会

冷たい風と塵埃から眼を護る

一步外へ出ると吹きすさぶ寒風が眼をチク／＼と刺戟し、塵埃が眼にとびこんで眼を傷けます。外出から歸つて變に眼の中がムズ痒いことがあつたら御注意が必要ですよ。

スマイルは結膜炎や疲れ目に夏效があります。このやうな場合に用ひても眼をサツパリさせ眼病の重くなるのを防ぎます。

近來好評の
新鋭眼科薬

ルイマス

讀者のカメラ 応募規定

一、題材 國民精神發揚をテーマとした報道写真、一枚にても結構な大きさなるべく、二、三枚の連続写真も可なり。三、印刷 鮮明及び住所姓名等記載のこと。四、送付 毎週火曜日。五、賞品 内閣情報部賞状又は金五圓以上の賞金を得る。六、応募作品は一切返戻せず、また複製又は印畫の権利は當所に歸属す。



少年消防隊

島根県加茂町 坪内茂元

これは島根県の根柢村、海潮村で一月十五日行はれた出初式に隨伴してワラジ履で點検を受ける同村少年消防隊と婦人消防隊のこと。

眞心こめて
群馬県立桐生高等女學校
着、寒さにつけ、戦地の兵隊さんと思ふ私等の眞心がこの慰問袋によつて幾分でも戦地へ届くと思へば、たい作るだけで私達は嬉しき一杯です。

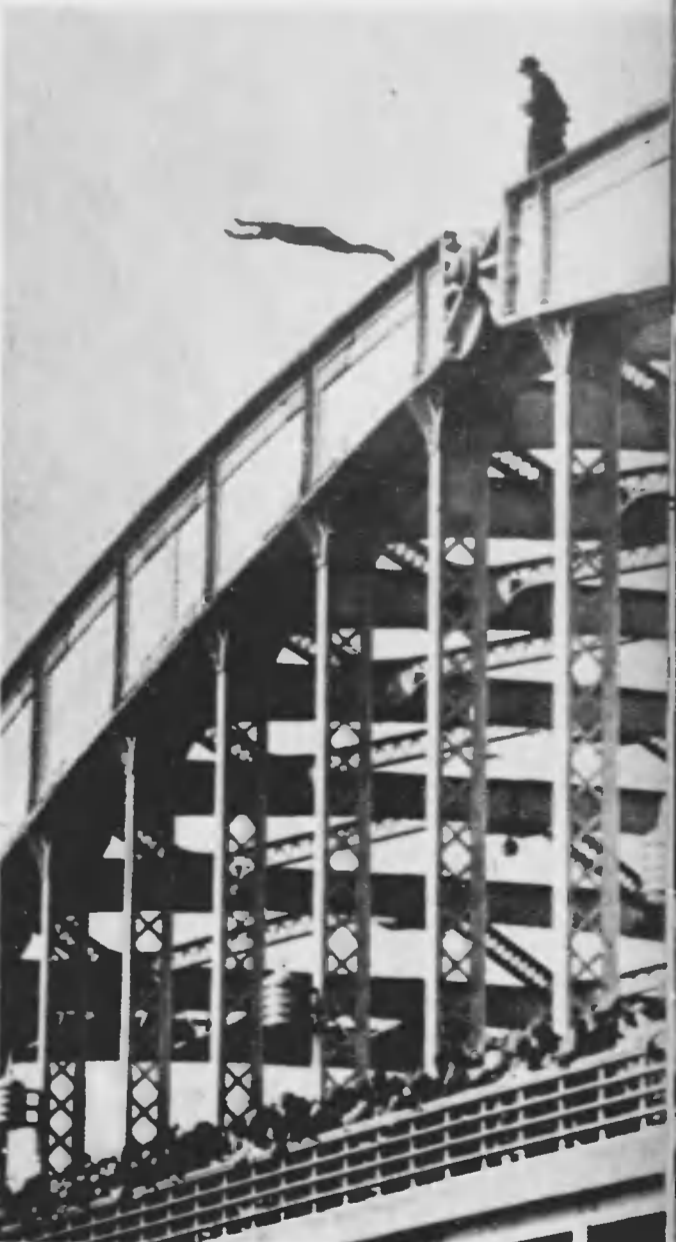
讀者のカメラ



寒中水泳

大阪市東區 小倉志郎

大阪淀川で行はれた寒中水泳の呼物、大船橋橋ノ宮橋三十米の最頂部から飛び込む選手のスリル！防共協の堅い握手、大阪第廿五回寒中水泳を彩つた防共協旗の行進水泳に勇む若人。



所 込 申	價 定	寫眞週報(兼轉載)
各書店・賣店 各新聞販賣店 寫眞材料店	半ケ年(前金)二圓八十錢 一ケ年(前金)四圓八十錢 (外貨に換算する場合は、半ケ年分未滿配當御希望の方は、一ケ年の割合を以て前金を添へ御申込み下さい)	昭和十四年二月八日印刷發行 編輯者 内閣情報部 印刷所 東京市墨田區本町四丁目 發行所 東京市墨田區本町四丁目 内閣情報部 東京市墨田區本町四丁目 東京市墨田區本町四丁目

寫眞週報

★表紙

母子保護法が施行されて滿一年、薄幸な母子も國家の保護の下に健全な歩みが見られる。

東京府社會事業協會經營の『和田彌母子寮』でスマイルと眠るわが子をみつめ、子の愛を身近に感ずる働く母、勞働に荒れた手に吾子のよさ／＼とした顔の變が寶玉のやうに感じられて来る。

攝影 鈴木實

用 薬

磨歯ブラク

ムシ歯予防に！ 健康強化に！

大塚製薬
クラブ



八大專賣特許應用

保健と衛生に敏感な 近代人の撰ぶ歯磨

歯磨は感^じて撰^ぶものではあり
ません。効果で撰^ぶべきもので
す。その點、薬用クラブ歯磨は八
大專賣特許による強力な殺菌・薬
効性能をもつ最も進歩した歯磨で
す。ムシ歯、口臭、歯槽膿漏を確
實に豫防するものこの科學的威力
あればこそです。

内閣印刷局印刷發行

(特許、商標・A4特許決定は2大の書本)

富貴週報 昭和十三年三月十二日 第三編 富貴週報 昭和十四年三月八日發行 (富貴) 四本毎日發行 第五十號